

令和7年度 長岡京市北地域包括支援センター事業計画【案】

【基本理念】	【柱】	【めざす姿】	【令和 7年度 包括目標】	【令和7年度 アクションプラン（行動計画）】
「いきいき・あんしん」支援あいのまちづくり	1. 高齢期を自分らしく暮らせている	健康づくりや介護予防ができる環境の中で主体的に取り組んでいる	① 高齢者とその家族が、権利や尊厳が守られ、必要な時に必要な支援が受けられている	①高齢者虐待対応 ・高齢者虐待の通報を受けたら市役所と連絡を取り合い、48時間以内に通報受理ミーティングを行い、事実確認に向けた役割分担、虐待を受けた人や養護者に必要な支援について協議する。 ・高齢者虐待を早期発見するために、地域での出張講座や地域密着型サービス事業所運営推進会議で虐待防止の啓発活動を行う。
		本人の意思に基づきいきいきと社会参画している		②成年後見制度利用支援 ・成年後見制度等の利用が必要な人が制度を利用できるよう、本人や家族に制度を説明し、成年後見制度の利用支援を行う。 ・成年後見制度利用促進体制整備事業に参画しスキルアップを図る。 ・無料法律相談の活用。
		権利や尊厳が守られている		①健康づくりの推進 ・依頼を受け出張講座に出向き、希望に沿った内容の講座を開催することで、高齢者自身の健康意識を高め、相談窓口として地域包括支援センターがあることを知ってもらう。【年12回・375人】 ・健幸すぽっとのびのび苑の周知、活用。 ・介護予防カレンダーの活用。 ・健康フェスタ未実施地域での健康フェスタ開催。
		介護等の必要なサービスを安心して利用できている		②介護予防ケアマネジメント ・介護予防が必要な高齢者に対し、閉じこもりや運動器の機能低下の予防に繋がる活動や、在宅でのその人らしい生活が維持できるよう、自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントを実施する。
	2. 介護等が必要になったときも安心して暮らせている	介護に従事する人材が、いきいきと働ける環境づくりが進んでいる	③ 高齢者支援に関わる人等が、それぞれの役割を果たしながら協力できている	①総合相談 ・初回相談後1週間以内に面談を行い、必要な支援に繋がるまで伴走支援する。 ・精神疾患が疑われるケースは既存の精神疾患の相談機関及び医療機関に繋ぐ。 ・月1回の部署会議で対応困難ケースに対しては支援方法を検討し、日々のコミュニケーションにより職員がストレスをため込まない環境を作る。
		誰もが互いに協力しあい、共に暮らす地域社会が築かれている		②地域・他機関とのネットワークづくり ・各種会議や協議会に出席することで、関係機関とのネットワークを作り、必要時に協力できる体制を構築する。 ・地域密着型運営推進会議に参加し、権利擁護や感染症、地域との関わり等の取り組みについて情報交換を行いネットワークを構築する。 ・安否確認を要する場合は他機関と連携し対応する。
		認知症の人や家族が安心して生活できている		①包括的・継続的ケアマネジメント ・ケアマネジャー等から寄せられた処遇困難事例に対して、地域ケア個別会議、地域ケア推進会議を開催し、多職種で課題を共有し課題解決に向けて伴走支援を行う。 ・地域ケアマネジメント会議から抽出した課題について、地域ケア個別会議、地域ケア推進会議を開催する。 ・市の高齢者福祉サービスの周知を行う。
		安心して地域生活が継続できる見守りの環境が整備されている		②認知症対応 ・医療カフェ、運動カフェの活用。 ・認知症啓発イベントの案内、周知。 ・出張講座の開催。